

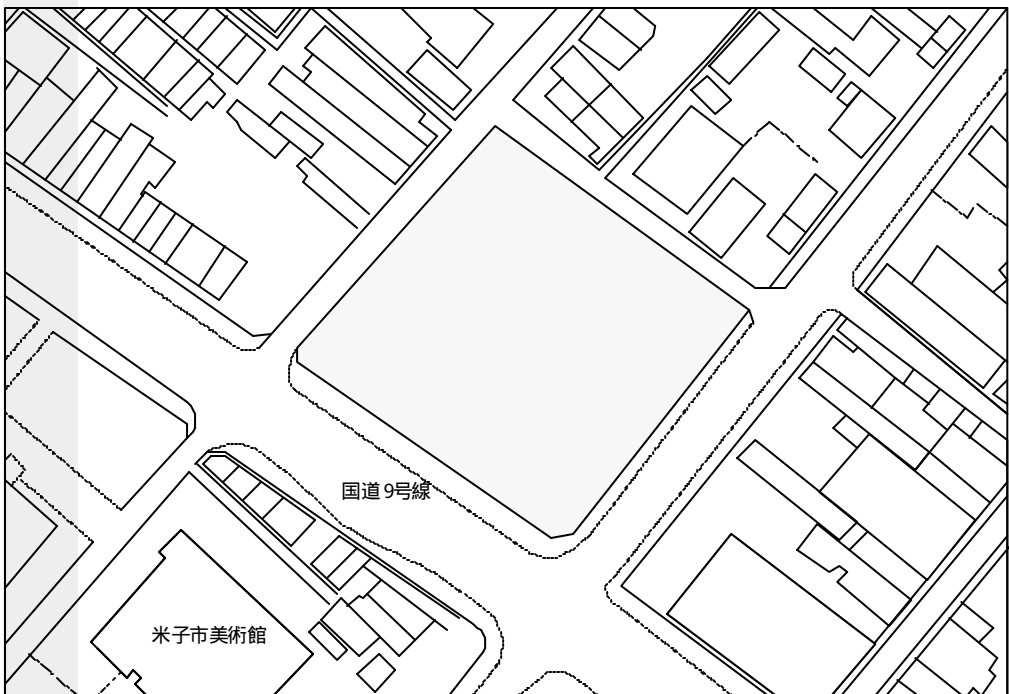
- Kaleido Scope ▶ 山陰歴史館リニューアル計画

▶ 米子市立山陰歴史館

米子市立山陰歴史館は、米子市の中心市街地に位置し、米子市の歴史、民俗、考古資料を主として収蔵展示する博物館類似施設である。その建造物は、昭和5年に当時の米子市庁舎として建築されたものであり、昭和59年に現在の山陰歴史館に衣がえして市民・観光客に利用されている。現在、この建物は一部に改修を受けているが、昭和5年建築当時の姿をよく伝え、夜間はライトアップされるなどして米子市の歴史的景観として親しまれている。一方で近年、博物館などの社会教育施設に対する社会的期待が高まっている。それらは青少年への教育普及活動、文化や自然の保全活動、再生活動などの拠点的役割など多岐に渡り、新たな博物館のあり方が必要であると考えられる。本計画では、この山陰歴史館を取り上げ、既存施設の内部プランをリニューアルし、新規棟を併せて計画して新たな山陰歴史館へと再生させる。

▶ 現状敷地 present condition site

鳥取県米子市中町



国道9号線（敷地前交差点）

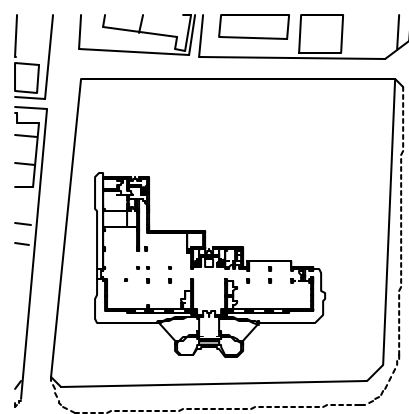


敷地内の前庭と一体化したバス停



前庭に置かれたベンチ。公的利用がされる。

- ▶ 計画地周辺は米子市の中心市街地で昔ながらの店舗や住宅などが混在している地域である。
- ▶ 計画地は国道9号線に面し、目の前にバス停がある。そのため敷地内の前庭にあるベンチなどを利用し、バスを待つ市民の姿が見られる。
- ▶ 買い物袋を提げたお年寄りが前庭に立ち寄り、休んでいく姿も見られる。



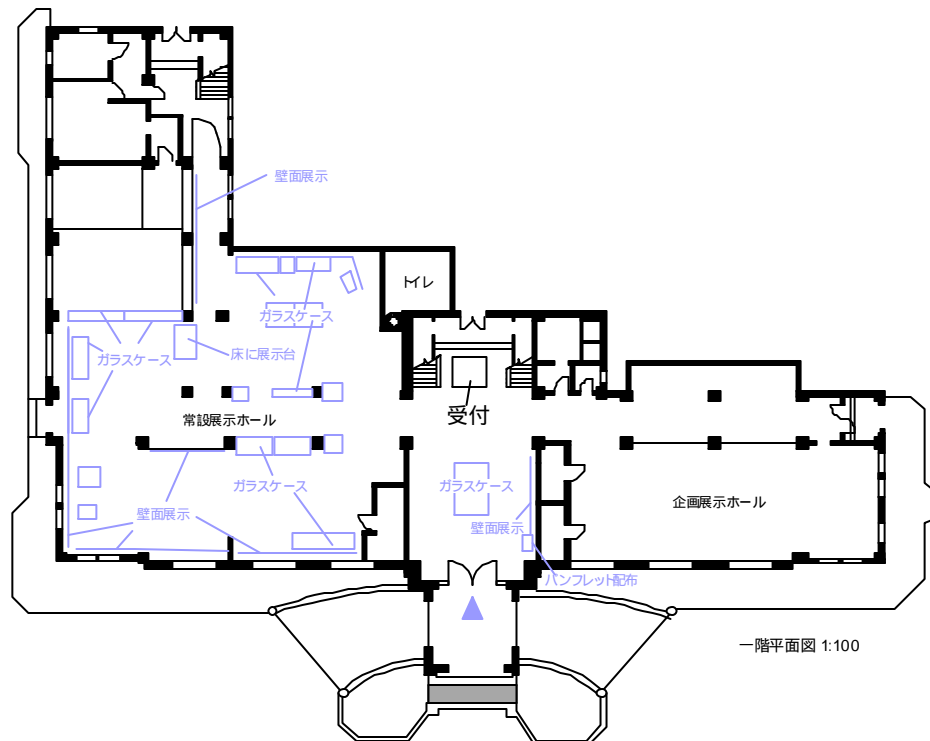
配置図 1:1,000

- ▶ 現在の山陰歴史館の主な施設内容として、常設展示ホール（1F）、企画展示ホール（1F）、市政展示室（2F）、民話の部屋（2F）、収蔵展示室（2F）、収蔵室（3F）などがある。

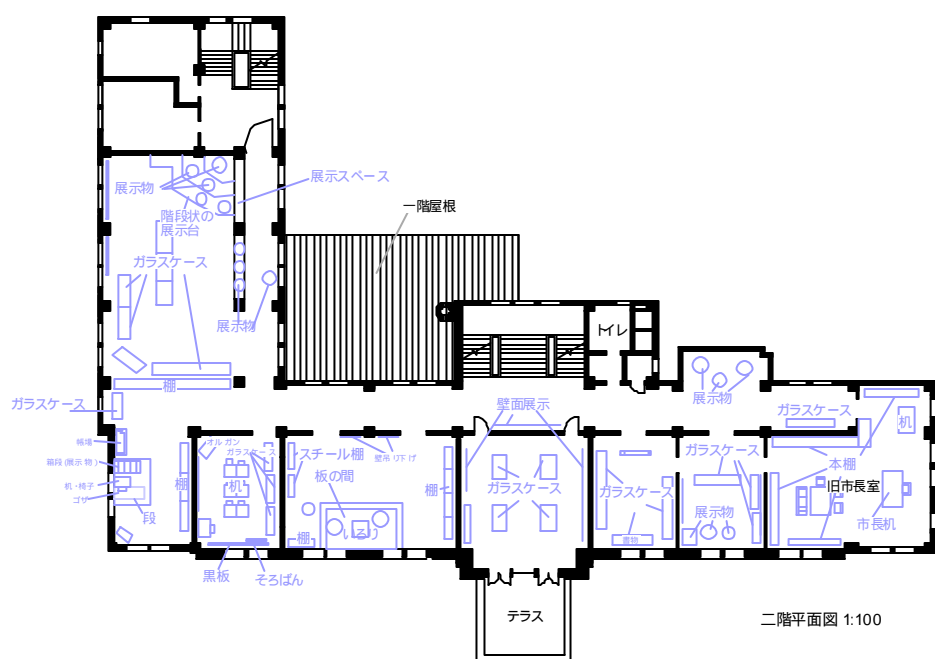
▶ 施設概要

所在地：米子市中町20番地
 構造：鉄筋コンクリート造
 地上3階建て（塔屋付属）
 敷地面積：1577.45㎡
 建築面積：716.82㎡
 延床面積：2030.45㎡
 設計：工学博士 佐藤功一、増戸憲雄
 工費：21万5000円
 竣工：昭和59年7月1日
 施工：鴻池組
 開館日：昭和59年12月1日
 米子指定文化財（昭和52年4月1日）

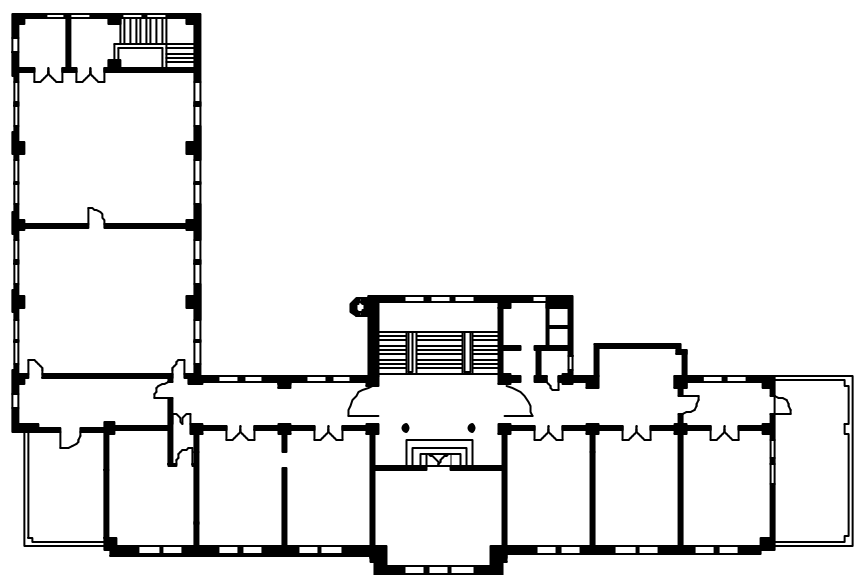
▶ 現状平面図 present condition plan



一階平面図 1:100



二階平面図 1:100



三階平面図 1:100